

学芸員制度見直し視点の私案

浜田弘明

1 「これからの博物館の在り方に関する検討協力者会議」報告書

- ・2007年（H19）第一次報告書『新しい時代の博物館制度の在り方について』
- ・2009年（H21）第二次報告書『学芸員養成の充実方策について』を踏まえて検討したい。

2 方向性の私案

- ・学芸員の名称及び国家資格制度の継承 … 国家試験の継続
- ・学芸員補の廃止または見直し … 大学進学者が少ない頃の制度の改革
- ・大学院における学芸員養成・専門職大学院の検討 … 高度専門職の養成
- ・経験を積んだ学芸員への称号付与 … 認証学芸員の新設

3 学芸員養成上の課題（省令レベルの検討）

- ・大学院に学芸員課程を設置するかどうか
- ・博物館専門職を養成する専門職大学院が設置できるかどうか
- ・学部での資格養成の継続 … 新科目を追加するかどうか
- ・現職学芸員の再教育をどのように行うか

4 上級資格としての認証学芸員の設置（告示レベルの検討）

公文書館の「認証アーキビスト」制度等を参考に「認証学芸員」制度を新設するかどうか

- ①実務経験3年以上
- ②専門的知識・技能を持つ
- ③修士課程修了レベル

- ・認証の方法：国立公文書館の「アーキビスト認証委員会」の設置等を参考

5 学芸員配置形態の検証（日本型の学芸員制度を検証）

学芸員不在の博物館を無くすための方策を検討 … 博物館施設の底上げ

- ・非正規職員（任期付・会計年度任用職員）として学芸員採用・発令されるケース
- ・正規の研究職として学芸員採用・発令されるケース
- ・正規の事務職として学芸員採用・発令されるケース
- ・学芸員発令も無く、有資格者が事務職として勤務するケースなどの確認